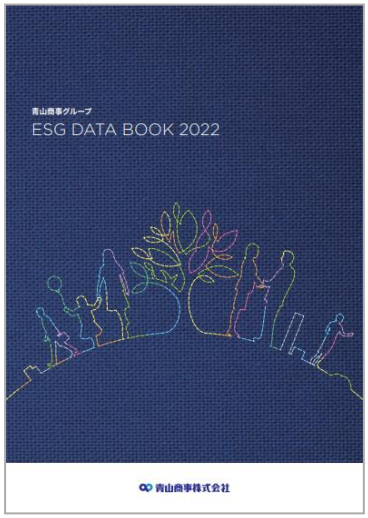
2022 年 11 月 16 日

青山商事初となる「ESG DATA BOOK 2022」発行のお知らせ

ESG への取り組みを強化し情報開示を拡充

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：青山理（おさむ））は、ステークホルダーの皆様へ当社の取り組みをより深くご理解いただくため、非財務情報を網羅的に取りまとめた「ESG DATA BOOK2022」を初めて発行し、11 月 16 日（水）にコーポレートサイトにて公開しました。

□「ESG DATA BOOK 2022」：https://www.aoyama-syouji.co.jp/ir/pdf/esg-data-book-2022.pdf
□ コーポレートサイト「ESG への取り組み」：https://www.aoyama-syouji.co.jp/ir/esg/



当社では、経営理念である「持続的な成長をもとに、生活者への小売・サービスを通じてさらなる社会への貢献を目指す」ことを念頭に、長期視点でのサステナブル経営を推進しています。また、コーポレート・ガバナンスの一層の高度化を主眼に、中期経営計画「Aoyama Reborn2023」最終年度の 2024 年 3 月期末には「CO_2 排出量 2014 年 3 月期比 30%削減」「女性管理職比率 10%以上」「Sedex 登録者数 15 工場以上」を掲げるなど、気候変動への対応、働き方改革・女性活躍推進、サプライチェーンマネジメントや人権尊重に向けた取り組みを進めています。

本 ESG データブックは、非財務情報を ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点から網羅的にかつ体系的に説明し、分かりやすくお伝えすることを目的に制作しています。また、TCFD 提言に沿った情報開示を進め 22 年度に初めて Scope3 の算出（20 年度実績）を実施した他、女性活躍を含むダイバーシティの推進に伴う各種データの充実、調達方針・調達先行動規範を策定しサプライチェーンの状況把握に努めるなど、情報開示の拡充を図っています。

今後も公正で透明性の高い情報開示を実施するとともに、ステークホルダーの皆様との対話のためのコミュニケーションツールとして活用しながら、サステナブル（持続可能）な社会への貢献を目指していきます。

《本件に関するお問い合わせ先》
青山商事株式会社　東京オフィス　広報部　長谷部、竹野
〒110-0005 東京都台東区上野 4-5-10 TSC TOWER 7F
TEL:03(5846)5656　MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp